

## 【NEWS RELEASE】

2024年4月11日

各 位

株式会社三井住友銀行  
SMBCベンチャーキャピタル株式会社スタートアップを対象としたインパクト投資の開始について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）および SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役社長：佐伯 友史、以下「SMBCVC」）は、本年4月よりスタートアップを対象としたインパクト投資を開始いたします。

インパクト投資とは、財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的および環境的インパクト<sup>\*1</sup>を同時に生み出すことを意図する投資行動<sup>\*2</sup>を指します。気候変動や貧困、ジェンダーなどの社会・環境課題が深刻化する中、インパクト投資は課題解決への有効なアプローチとしてグローバルに関心が高まっております。世界のインパクト投資残高は 1.16 兆ドル<sup>\*3</sup>、日本のインパクト投資残高も 5.8 兆円と 1 年間で約 4.4 倍に拡大しています<sup>\*4</sup>。

政府も「経済財政運営と改革の基本方針 2023」において、インパクト投資の促進等を通じ社会的起業家（インパクトスタートアップ）への支援を強化することを明記しました。また、2024年3月には、金融庁から「インパクト投資（インパクトファイナンス）に関する基本的指針」が公表されております。

この流れを受け、SMBC グループでは 2023 年にインパクト志向金融宣言に署名、一般社団法人インパクトスタートアップ協会に賛同会員として加入するなどインパクトに関する取組を進めてまいりました。

今般、インパクト創出に向けた取組を一層進めるため、三井住友銀行と SMBCVC は共同でインパクト投資機能を整備し、SMBC グループが設定する重点課題（マテリアリティ）である「環境」、「DE&I・人権」、「貧困・格差」、「少子高齢化」、「日本の再成長」の解決に寄与するスタートアップに対し SMBCVC がインパクト投資を行ってまいります。インパクト投資は、中期経営計画で掲げるスタートアップ向け投融資 1,350 億円（2023～2025 年度）の実現を加速させる施策の一つとして位置付けております。

SMBCVC は通常の投資活動に加え、インパクトの測定・管理・開示をインパクト投資の対象となるスタートアップとともに実施します。また、三井住友銀行は SMBCVC と協力し SMBC グループの有するネットワークや知見を活用したインパクト創出支援を行います。加えて、三井住友銀行は、

インパクト投資の裾野を拡大するため、インパクト投資に関心のあるスタートアップ向けのイベントや個別相談会、ロジックモデルの作成支援を行うワークショップを開催予定です。

これからも SMBC グループは、持続可能な社会の構築に向け、マテリアリティの課題に取り組み、社会的価値の創造に努めてまいります。

※1 事業や活動の結果として生じた、社会的・環境的な変化や効果

※2 引用：GSG 国内諮問委員会ウェブサイト

※3 引用：Global Impact Investment Network 「GIINSight: Sizing the Impact Investing Market 2022」

※4 引用：GSG 国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状と課題 2022 年度調査」

以 上